

研究情報の公開 PDF の原稿

承認番号	24024
研究課題名	術前経気管支生検により肺炎を発症した肺癌切除例の検討
研究の意義・目的	中枢気道・肺末梢病変に対する確定診断を得る方法として、経気管支生検は一般的に行われる検査である。気管支鏡検査の合併症として肺炎や胸膜炎があり、肺炎や胸膜炎から肺膿瘍・膿胸を発症することがある。稀な合併症であるが、重篤化すれば肺癌の治療に少なからず影響を与えるのみならず、肺腫瘍自体の死亡率も7~20%と高率であり、可能ならば避けるべき合併症である。肺炎を発症するリスク因子を明らかにすることで発症を予防できる可能性があり、さらに肺炎の発症が周術期における影響を明らかにすることで、肺炎を発症したとしても迅速に適切な対応を行える可能性があるため、意義のある研究と考える。
研究期間	倫理審査委員会承認後~2026年12月31日
承認日	2025年1月8日
対象となる方	2016年1月1日から2021年12月31日までの期間に、確定診断目的で術前経気管支生検を行った後、当科にて外科切除（他臓器合併切除を伴わない肺葉切除）を行った患者。
利用又は提供する試料・情報	診療記録（CT検査などの結果を含む）
利用者の範囲	自施設のみ
利用または提供を開始する予定日	通知または公開から1ヶ月後
診療科	呼吸器外科
代表施設と研究責任者	本院 呼吸器外科 藤井祥貴
試料・情報を管理する研究機関の長	石切生喜病院 病院長 平田一人
試料・情報を公表する方法	研究成果は研究対象者を特定できないようにした上で学会や学術雑誌等で公表する
試料・情報の提供方法	該当無し
本院の研究責任者	呼吸器外科 藤井祥貴
情報の提供を行う機関の長	石切生喜病院 病院長 平田一人
拒否機械の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	〒579-8026 東大阪市弥生町 18-28 石切生喜病院 電話：072-988-312 臨床研究支援センター（内線 6126） 佐藤 （文書の場合は研究責任者に、電話の場合は臨床研究支援センターに連絡下さい）

